

～オホーツク管内博物館連絡協議会連絡誌～

はばた

翔けオ博協！

第4号

発行年月日 令和6年3月31日
〒090-0015
発行所 北海道北見市公園町1番地
北網圏北見文化センター内
オホーツク管内博物館
連絡協議会事務局
TEL. 0157-23-6742
FAX. 0157-31-8344

令和5年度事業

1. 諸会議の開催

(1) 令和5年度オホーツク管内博物館連絡協議会総会

・ 期日：4月21日(金)

報告事項

- ① 令和4年度事業報告について
- ② 令和4年度決算報告について
- ③ 令和4年度監査報告について

協議事項

- ① 令和5年度事業計画(案)について
- ② 令和5年度予算(案)について

(2) 令和5年度オホーツク管内博物館連絡協議会役員会

・ 期日：4月21日(金)

協議事項等については総会内容と同じ

(3) 令和5年度オホーツク管内博物館連絡協議会臨時役員会

・ 期日：11月8日(水)

令和6年度の機関紙予算について

2. 研修事業

(1) 研修会(遠軽町)

・ 4月29日(土)～5月5日(金)

・ 場所：木のおもちゃワールド館ちゃちゃワールド

・ 内容：「生田原木のおもちゃワールド館ちゃちゃワールド開館25周年記念事業」

(2) 研修会(北見市)

・ 7月15日(土)～8月27日(日)

・ 場所：北網圏北見文化センター

・ 内容：「世界一周トリックアートの旅」

3. 広報活動

・ 機関紙「翔けオ博協！」第4号の発行

4. その他

(1) 会員相互の資料の貸借及び斡旋

(2) 講演、研修会、企画展等の後援

～会員の各館事業に対する後援

① 生田原木のおもちゃワールド館ちゃちゃワールド開館25周年記念事業への助成

② 北網圏北見文化センター「世界一周トリックアートの旅」後援

令和5年度オホーツク管内博物館 連絡協議会総会報告

令和5年度の定期総会が4月21日(金)、北見市の北網圏北見文化センターで開催されました。総会では、令和4年度の事業報告・決算報告・監査報告などが報告され、また令和

5年度の事業計画(案)・予算(案)について説明・協議されました。会員より、印刷製本費及びホームページ作成に関する指摘があり、今後の役員会で検討することとなりました。出席10機関、委任状8機関の合計18機関全員により承認されました。

令和5年度オホーツク管内博物館
連絡協議会研修事業（遠軽町）
木のおもちゃワールド館ちゃちゃワールド

平成10年4月28日に誕生した木のおもちゃワールド館「ちゃちゃワールド」。

「見て」「触れて」「遊ぶ」を基本コンセプトとして、館内には世界約40か国から集めた木製玩具が展示されているほか、木のぬくもりを感じながら遊ぶことができる広場や、影絵の巨匠として知られる藤城清治氏の影絵美術館など、子どもから大人までが楽しめる施設として、多くの皆様にご利用いただき、今年で25周年を迎えることができました。

25年前、開館初日からの8日間で28,000人が来館。合併前の旧生田原町の当時の人口が2,908人でしたので、町民の約10倍の人がちゃちゃワールドを訪れたことになります。さらに5月3日には9,000人が来場し、あふれんばかりの人で賑わい、終日子ども達の歓声が館内に響き渡っていたとのことです。



25年前、開館日の様子
多くの来館者で行列が……

ここ数年は新型コロナウイルス感染症が、集客施設の運営に大きな影響を与え、長期の施設休館や企画展の延期・中止などの制約を受けました。休館期間後は徹底した感染症対策を行ない、お客様に安心して施設を利用してもらえるよう努めています。コロナ禍の影響で大幅に減少した来館者数も、昨年度からは徐々にではあ



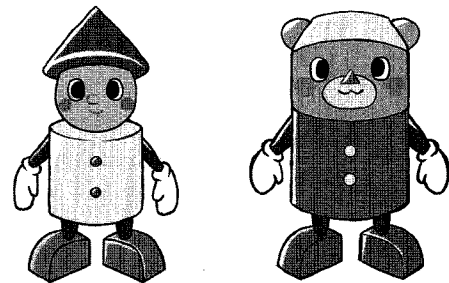
ちゃちゃワールド外観

りますが回復傾向にあります。

ちゃちゃワールドを利用されるお客様の多くは、小さいお子様連れのご家族ですが、木の玩具の消毒を徹底していることで「安心して遊ばせることができる」と、多くの方からお褒めの言葉をいただいています。

4月29日と30日には開館25周年記念事業を開催し、パフォーマー KURO さん製作のバルーンフォトスポットを館内に設置したほか、ワークショップなどを実施いたしました。また、25周年を記念して誕生した公式キャラクター「キノッピー」「ブロックマ」の記念スタンプ製作やオリジナルグッズの配布など、お客様が楽しめる企画を今後も計画しています。

私たちは、改めて博物館としての役割の難しさを実感していますが、今後も色々なことを模索し、「見る」「触れる」「遊ぶ」を基本に、木の大切さや木のぬくもりを感じられるちゃちゃワールドでのひと時をこれからも提供していこうと思います。



25周年を記念して誕生した公式キャラクターの
「キノッピー」(左)と「ブロックマ」(右)

令和5年度オホーツク管内博物館
連絡協議会研修事業（北見市）
北網圏北見文化センター

よりよい美術鑑賞の機会を地域住民に提供することを目的に、北見市美術展実行委員会の主催で、毎年美術企画展を北網圏北見文化センターで実施しています。今年度は7月15日から8月27日まで『世界一周トリックアートの旅』を開催しました。



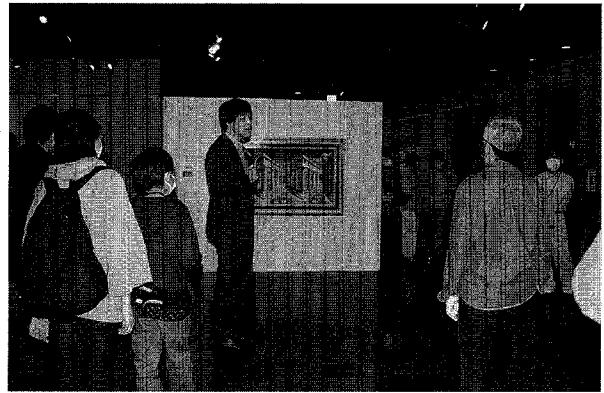
美術企画展の様子

世界一周[トリックアート]の旅を大きなテーマとし、普段は観に行くことが難しい世界の名所を「アメリカ」、「ヨーロッパ」、「アフリカ」、「アジア・オセアニア」の4つのセクションに分けて展示し、目の錯覚を利用した作品30点を展示しました。

他の展覧会と異なり、作品を見て・さわって・撮って楽しめる体験型展覧会のため、児童生徒から高齢者にいたるまで幅広い層に親しまれる展覧会となり、入場者数8,774人となりました。

また、会場内では、作品説明や写真撮影を代行するためのガイドスタッフを配置し、作品の特徴や撮影ポイントを知ってもらうことで、入場者が楽しく安全に観覧できる環境づくりに努めました。

本展覧会の関連イベントであるギャラリートークは展覧会開催初日に実施され、企画協力の株式会社エス・デーのアートディレクター神山宣耀氏をお招きし、数多くの作品の見どころや撮影ポイントを分かりやすく説明いただき



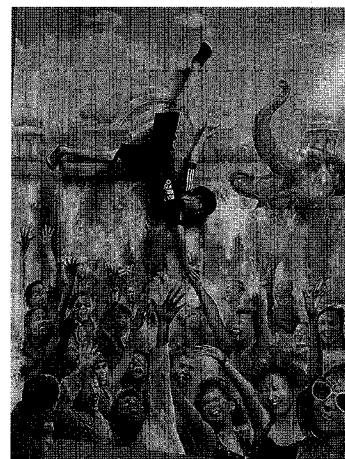
ギャラリートークの様子

ました。

他関連事業として、公開制作、ふしぎ？オモシロ！フォトコンテストを開催しました。

公開制作では、企画協力の株式会社エス・デーのアートディレクター 工藤将人氏が展示室内で作品を仕上げるパフォーマンスを行い、『北きつね』を描いてくださいました。一から作品を制作する様子に多くの観覧者が足を止め、見入っていました。

フォトコンテストでは、本展で撮影されたトリック写真を募集し、271点の応募がありました。北見市美術展実行委員5人、トリックアート展ガイドスタッフ7人による審査の上、優れた作品7点が入選となりました。



最優秀賞

「手を繋いだままバンザイされたらこーなる」

夏休み、土日を中心に家族連れなど多くの人で賑わい、盛況のうちに終わることができました。今後も楽しい展覧会を開催していきます。

オホーツク管内博物館連絡協議会会員名簿

(令和6年3月現在)

| 設置主体区分 | No. | 市町村名 | 施設名 | 備考 |
|---------|-----|------|--|------------|
| 町 村 | 1 | 美幌町 | 美幌博物館 | |
| | 2 | 斜里町 | 斜里町立知床博物館 | |
| | 3 | 清里町 | 清里町郷土資料館 | |
| | 4 | 訓子府町 | くんねっぷ歴史館 | |
| | 5 | 遠軽町 | 遠軽町埋蔵文化財センター 遠軽町郷土館 丸瀬布郷土資料館・丸瀬布昆虫生態館 | |
| | 6 | 湧別町 | 湧別町ふるさと館 JRY | |
| | 7 | 佐呂間町 | 佐呂間町開拓資料館 | |
| | 8 | 置戸町 | 置戸町郷土資料館 | |
| 市 | 9 | 北見市 | 北網圏北見文化センター ピアソン記念館・北見ハッカ記念館 端野町歴史民俗資料館 ところ遺跡の館 | |
| | 10 | 網走市 | 網走市立郷土博物館 網走市立郷土博物館分館（モヨロ貝塚館） | |
| | 11 | 網走市 | 網走市立美術館 | |
| | 12 | 紋別市 | 紋別市立博物館 | |
| 国・道・財団等 | 13 | | (公財) 博物館網走監獄 | 網走市 (設置場所) |
| | 14 | | (財)北海道立北方民族博物館 | 網走市 (設置場所) |
| | 15 | | (財)北海道立オホーツク流氷科学センター | 紋別市 (設置場所) |
| | 16 | | 東京大学大学院附属常呂資料陳列館 | 北見市 (設置場所) |
| | 17 | | (株)木のおもちゃワールド館 | 遠軽町 (設置場所) |
| | 18 | | 東京農業大学学術情報課程 (オホーツクキャンパス) | 網走市 (設置場所) |
| 賛助会員 | 19 | | NPO法人 オホーツク文化協会 | 北見市 (設置場所) |
| | 20 | | GROUP 斜面 | 北見市 (設置場所) |